

4 子どもの人間（友人）関係

1 小・中学生の友達や教師との関係

「一番仲の良い友達」を「同級生の友達」と回答した小学2年生の保護者は80.8%、「学校の友達」とした小学5年生は78.0%、中学2年生は84.1%であった。どの学年でも、「同級生の友達」もしくは「学校の同級生」が最も高い割合を占め、特に中学2年生が高率であった。中学2年生に比べて、小学5年生は「スポーツ・チームやクラブ活動の友達」(7.1%)や「学校以外の地元や近所に住んでいる友達」の割合(3.4%)が高い。(図表4-1-1~4-1-3)

次に、生活困難層と非該当層間で、「同級生の友達」もしくは「学校の同級生」とした回答の割合を比較すると、小学2年生では生活困難層が非該当層を6.8ポイント下回ったものの、小学5年生や中学2年生では顕著な差は見られなかった。(図表4-1-1~4-1-3)

そして「人との関わりについて、ふだんどのように思っていますか」について、各項目の回答を小学5年生と中学2年生で比較した。まず、「友達に好かれている」を「とてもそう思う」とする回答は小学5年生で34.6%、中学2年生で21.3%であり、中学2年生で割合は13.3ポイント低下している。一方「少しはそう思う」と回答した小学5年生は48.2%、中学2年生で59.7%であり、中学2年生での割合は11.5ポイント増加した。(図表4-2-1-3, 4-2-2-3)

また、「学校の先生から認められている」に「とてもそう思う」とする回答は小学5年生で34.7%、中学2年生で29.7%であり、中学2年生で5ポイント低下している。一方、「少しはそう思う」と回答したのは小学5年生で50.1%、中学2年生で53.4%であり、中学2年生で割合は3.3ポイント増加した。(図表4-2-1-4, 4-2-2-4)

また、学年間で最も顕著な差が見られたのは「学校の先生と話すのはうれしい」に「とてもそう思う」とする回答であり、小学5年生(43.7%)に比べて中学2年生(26.3%)が大きく下回り、17.4ポイント低い。一方、「思わない」とする回答は、小学5年生から(14.4%)中学2年生(24.7%)にかけて10.3ポイント増加している。(図表4-2-1-5, 4-2-2-5)

(まとめ)

以上の結果は、階層に関わらず、子ども達が同世代の仲間関係を形成する空間として、学校という人的・物的環境が最も重要な役割を果たしていることを示す。しかし、子ども達が学校生活における友達や教師との関わりで、受容・肯定・承認されたと感じる体験や実感は、小学校から中学校にかけて強くはなくなっていることを示唆している。その背景には、対人関係がより多面的に複雑化し、社会性が分化を遂げていく発達の筋道が想定される。また思春期以降には、子どもの内面で、より他者視点での評価を意識し、友人関係に不安や葛藤を抱えやすくなることも想定される。

そして、教師との会話を「うれしい」と強く感じる子どもの割合が、小学校から中学校にかけて減少している背景には、子どもの対人関係の主軸が大人との関係から、より同年齢の仲間関係にシフトしていく社会性の発達の变化があると推察される。また、中学校で学業の難易度がより高まること、学級担任制から教科担任制への移行、部活動などで、子どもと教師の関係が大きく変化していることも考えられる。そこで教育現場では、小学校から中学校の移行段階で生じている人的・物的環境の変化や、そこで生じうる身体的・心理的負荷を十分に理解しておく必要がある。さらに、教師は自らの言動が指示的で評価的なものに偏っていないか、受容的かつ共感的な交流の機会を持っているかを意識し、平素から自覚的なコミュニケーションを心がける必要がある。

2 小・中学生の友達との関係（階層間の比較検討）

次に、人とのかかわりについて、ふだんどのように思っているかについて、生活困難層と非該当層間の比較を行った。まず、「友達に好かれている」という質問に「とてもそう思う」と回答したのは、小学5年生で33.0%（生活困難層）、35.3%（非該当層）、中学2年生では18.8%（生活困難層）、21.7%（非該当層）であった。両学年ともに非該当層が若干上回った。一方、「そう思わない」とする回答は、小学5年生で17.1%（生活困難層）、14.3%（非該当層）、中学2年生では22.9%（生活困難層）、15.5%（非該当層）であり、生活困難層が非該当層を上回っている。しかも、両者の階層間の差は小学5年生の2.8ポイントから、中学2年生の7.4ポイントに拡大している。（図表4-2-1-3, 4-2-2-3）

（まとめ）

以上の結果は、友達に好かれていないと感じている子どもが、特に思春期以降に生活困難層で増加している可能性を示す。生活困難層の中学2年生は5人に1人以上が、学校生活や友人関係に肯定的感情を十分に抱けていないことが危惧される（こうした子どもは学校生活の適応に困難や躓きを示している児童生徒は勿論のこと、表面上は適応している子どもの中にも一定数存在する可能性がある）。この結果は決して看過しうるものではない。なぜなら、“友達に好かれていない”という認識は、友達という“他者視点”を借りた“自己”への評価でもあり、子ども達の内面で自己評価や自己肯定感が低下している可能性が否めないからである。さらにこのことは、思春期以降の社会性やパーソナリティの発達、さらにはアイデンティティーの確立にも影響を及ぼしうる。

そこで子ども達には、同世代の対人関係の中で「自分自身を肯定できる」体験が必要とされる。ここでは、興味や関心を見極めながら、子ども達が「専念できる活動」をともに発見する援助が求められる。そして、学校や学級の諸活動中で「役割や責任」を担い、「達成と参加」の実感を得る体験も不可欠である。さらに教師には、子どもがこうした成功体験のフィードバック（注目・承認）を、周囲の友達や教師から得られるような、社会的相互作用の媒介者・促進者たる役割も期待される。したがって教育現場においては、各教科の授業、年間の学校行事、部活動等の中に、子ども達が「自分自身を肯定できるチャンス」を探る観点、そして創出する発想が必要とされる。

3 小・中学生の教師との関係（階層間の比較検討）

さらに、教師に関する回答を見る。「学校の先生から認められている」に「とてもそう思う」とする回答は、小学5年生で29.2%（生活困難層）、36.0%（非該当層）であり、生活困難層が非該当層を6.8ポイント下回った。中学校2年生でも、生活困難層（25.2%）は非該当層（31.0%）を5.8ポイント下回った。一方、「そう思わない」とした回答は、小学5年生で17.3%（生活困難層）、12.6%（非該当層）、中学2年生では、20.7%（生活困難層）、13.9%（非該当層）であり、双方の学年において生活困難層が非該当層を上回っていた。（図表4-2-1-4, 4-2-2-4）

一方、「学校の先生と話すのはうれしい」に「とてもそう思う」とした回答は、小学5年生で44.2%（生活困難層）、43.6%（非該当層）、中学2年生では25.5%（生活困難層）、26.4%（非該当層）であり、生活困難層と非該当層間に明確な差は見られなかった。（図表4-2-1-5, 4-2-2-5）

(まとめ)

以上の結果から、生活困難層の子どもでは非該当層の子どもに比して、教師から承認されたという実感が弱くなりがちな傾向が示された。そこで、今後の学校教育においては、まず、既述のように、日々の授業改善や学級経営、そして部活動指導の中に、子ども達に「達成と参加」の可能性を探る視点が不可欠となる。つまり、「承認できることがあればほめてあげる」という発想以上に、「承認される機会や場を確保する」工夫や手立てが必要とされる。また、教師が子どもに対して抱く期待や情熱、細やかな心配りが、どのようなメッセージとして発信され、それが、受け手である子どもの内面にどう届いているかを検証する必要もある。発信者（教師）の意図や心情と、受信者（子ども）の認知に大きな“ズレ”が生じないための、メッセージの意味内容や伝達の工夫が必要とされる。一方で、教師との共感的で受容的な関わりや、親和的な関係性については階層間の格差は認めなかった。今後教師には、こうした関与をより自覚的・意図的・組織的に行っていくことで、厳しい経済社会的な家庭環境にある子ども達にとっての心理的な「居場所」を、学校という人的環境に確保する役割が求められる。

4 相談相手としての家族・教師・友人

小学5年生で、「困りごとや悩みごとなどの相談相手」として、「お母さん」と「よく話す」とした回答は68.3%、「お父さん」と「よく話す」は34.8%であった。中学2年生では、「お母さん」と「よく話す」とした回答は60.1%、「お父さん」と「よく話す」は26.9%であった。このように両方の学年で、父親よりも母親と「よく話す」傾向が顕著であった。また、母親と父親ともに、中学2年生での割合は小学5年生のそれを下回った。「よく話す」と「ときどき話す」を合計し、話すとは回答した割合でも同様の傾向が見られた。小学5年生で「お母さん」と話すとは回答した児童は92.4%、「お父さん」と話すとは回答した児童は72.8%であった。中学2年生で「お母さん」と話すとは回答した生徒は88.1%、「お父さん」と話すとは回答した生徒は64.7%であった。このように両学年で、「よく話す」と「ときどき話す」を合計し、話す相手としては母親の割合が高く、父親とする回答が下回った。(図表4-3-1, 4-3-2)

次に、「困りごとや悩みごとなどの相談相手」としての「学校の先生」に関する回答を見た。小学5年生で「学校の先生」と「よく話す」とする回答は18.2%、中学2年生では13.9%であった。「よく話す」「ときどき話す」を合算した構成比では、小学5年生の児童では60.3%、中学2年生では54.2%であった。また、「困りごとや悩みごとなどの相談相手」として「学校の先生」と「話さない」とする回答は、小学5年生で36.4%、中学2年生で42.9%であった。このように、中学2年生では小学5年生に比して、相談相手として教師と話すとは回答する比率は、より低くなる傾向が見られた。(図表4-3-5)

さらに、友達関係に着目した。「友達」と「よく話す」とする回答は、小学5年生で57.4%、これは母親(68.3%)に次いで高率であった。中学2年生では64.0%を占め、母親(60.1%)を超えて最も高率を示した。さらに「友達」と「よく話す」「ときどき話す」を合算した構成比を見ると、小学5年生84.7%、中学2年生で88.0%であった。ここから、上記の「学校の先生」と「よく話す」「ときどき話す」を合算した構成比(小学5年生60.3%、中学2年生54.2%)との差を算出すると小学5年生では24.4ポイント、中学2年生では33.8ポイントであり、中学2年生では、この割合の差は拡大している。このように小学5年生で、相談相手として友達と話すとは回答した比率は高く、中学2年生でより高くなる傾向が見られた。(図表4-3-8)

(まとめ)

以上の結果が示すように、小学校段階から中学校段階にかけて、子ども達の身近な相談相手は、母親や教師などの大人が徐々にフェードアウトしている。その一方で、同年代の友達がより重要な役割や機能を持つようになると考えられる。そうした変化の背景には、前述のように、子どもの対人関係が大人

との関係から、より同年齢の仲間関係に移行する社会性や対人関係の発達の変化があると考えられる。

5 相談相手としての家族・教師・友人（「生活困難層」「非生活困難層」の比較検討）

相談相手としての家族や教師そして友人との関わりを、「生活困難層」と「非生活困難層」（中間層と非該当層を合算）間で比較検討した。「困りごとや悩みごとなどの相談相手」として、「お父さん」が「いない」と回答した割合は小学5年生で、生活困難層（26.9%）が非生活困難層（3.9%）を、23ポイント上回った。さらに中学2年生の段階では、この差はより顕著となり、生活困難層（30.8%）が非生活困難層（5.0%）を25.8ポイント上回った。（図表4-3-2-1）

次に、「困りごとや悩みごとなどの相談相手」として、「お母さん」と「よく話す」とする回答は、小学5年生では、生活困難層（64.4%）が非生活困難層（68.7%）を4.3ポイント下回った。同様に中学2年生でも、生活困難層（56.9%）が非生活困難層（60.5%）を3.6ポイント下回った。つぎに、「お父さん」と「よく話す」とした回答は、小学5年生では生活困難層（24.1%）が非生活困難層（35.9%）を11.8ポイント下回った。同様に、中学2年生では生活困難層（17.1%）が、非生活困難層（28.0%）を10.9ポイント下回った（図表4-3-1-1、図表4-3-2-1）

このように両学年ともに、生活困難層では非生活困難層に比して、母親や父親と「よく話す」とする回答が低率となる傾向を認めた。特に、父親と「よく話す」とする回答が著しく低くなった。一方、「おばあちゃん・おじいちゃん・親戚」と「よく話す」とした回答は、生活困難層の方が高い傾向を示した。小学5年生では、生活困難層（25.6%）と非生活困難層（22.0%）との間で3.6ポイントの差があった。中学2年生においては、生活困難層のほうが（21.2%）が非生活困難層（15.8%）を5.4ポイント上回っている。（図表4-3-3-1）

つぎに、「学校の先生」に「困りごとや悩みごとなど」を「よく話す」とした回答についても、生活困難層と非生活困難層の比較を行った。「よく話す」と回答した割合は、小学5年生で20.3%（生活困難層）、18.0%（非生活困難層）であった。中学2年生では15.1%（生活困難層）、13.8%（非生活困難層）であった。このように両学年で、生活困難層と非生活困難層に顕著な差は認めなかったものの非常に低率であった。さらに中学2年生では、相談相手として教師と「話さない」とした回答の割合は、生活困難層で42.5%、非生活困難層で43.0%を占めている。（図表4-3-5-1）

さらに、「友達」に「困りごとや悩みごとなど」を「よく話す」とした回答は、小学5年生で58.6%（生活困難層）、57.3%（非生活困難層）であった。中学2年生では63.1%（生活困難層）、64.1%（非生活困難層）であった。このように両学年で、生活困難層と非生活困難層間に明らかな差は認めなかった。（図表4-3-8-1）

（まとめ）

以上の結果のうち、父親を「いない」とする回答は生活困難層に著しく多く、小学校よりも中学校でその割合は多くなっている（26.9%→30.8%）。特に、生活困難層の家庭において、離婚等の理由により父親のいない割合が漸増していると考えられる。また、生活困難層では、特に父親とのコミュニケーションが少なくなる傾向が示された。このように、生活困難層と非生活困難層の間では、子どもの育つ人的環境、特に家庭内のコミュニケーションに何らかの格差が生じている可能性が示された。

一方、祖父や祖母、親戚等との関わりにおいて、上記の結果を見る限り両階層間の格差は見られなかった。生活困難層の家庭において、こうした縁者が経済社会的機能、養育機能や教育機能について、補完的かつ協力的な役割を担っている可能性も推察された。したがって、生活困難層の家庭の子どもへの支援において、子どもや当該家庭のみならず、周囲の人的なネットワークに着目したアセスメントやアプローチも必要とされるであろう。

次に、教師を相談相手とする回答に、両階層間の格差は認めなかった。しかし、着目すべきは、特に中学校段階で、相談相手として「教師と話さない」と回答した子どもの割合が、両階層ともに4割を超えていることである。この結果は、教育現場で教師が行っている教育相談の重要課題を提起するものである。つまり、教育相談を単に“悩んでいる子どもへの相談対応”ではなく、子どもから自発的な援助希求行動を引き出し、子どもがその援助を活かして問題解決する力を育む発想や観点が求められる。

そのためには、子どもに期待する「自立」を自己完結的なものではなく、より相互的で共同的なものと位置付ける発想が必要とされる。つまり、子どもが“誰かの力を借りる”こと自体に、より積極的な意味を見出し、肯定的な評価をすることである。さらに、教師が行う教育活動と教育相談を別個のものとして扱うのではなく、関連性と連続性において捉えて実行する必要がある。子どもに「安心して話せる」相手として認識してもらうために、教師は日頃から自身のコミュニケーションに意識的かつ自覚的になることが期待される。

ところで本調査では、両階層間で「家族」のコミュニケーション環境に何かしらの格差の可能性が見出された一方で、「友達を相談相手とする」回答に差は認められていない。このことから、生活困難層の家庭の子どもが、同年代の友達と相互的かつ互恵的な関係を形成できる社会的環境として、学校が健全に機能し続けること自体が、何かしらのセーフティーネットの役割を果たしうる可能性が推察される。

一番仲が良い友達は、どのような友達ですか。

(小学2年生 **小学5年生** 中学2年生 小学2年生保護者 小学5年生保護者 中学2年生保護者)

図表 4-1-1 一番仲が良い友達 (中2)

単位 上段：世帯 下段：%		調査数	学校の友達	学校以外の地元や近所に住んでいる友達	スポーツ・チームやクラブ活動の友達	学習塾の友達	ネット上で知り合った友達	その他の友達	仲の良い友達はいない	無回答
全体		6,429 100.0	5,406 84.1	110 1.7	294 4.6	39 0.6	40 0.6	93 1.4	85 1.3	362 5.6
生活困難層別	生活困難層	642 100.0	535 83.3	11 1.7	20 3.1	3 0.5	8 1.2	14 2.2	14 2.2	37 5.8
	中間層	1,457 100.0	1,239 85.0	26 1.8	55 3.8	7 0.5	10 0.7	18 1.2	22 1.5	80 5.5
	非該当層	4,330 100.0	3,632 83.9	73 1.7	219 5.1	29 0.7	22 0.5	61 1.4	49 1.1	245 5.7
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	285 100.0	242 84.9	3 1.1	8 2.8	-	3 1.1	4 1.4	6 2.1	19 6.7
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	466 100.0	384 82.4	11 2.4	15 3.2	3 0.6	3 0.6	12 2.6	2 0.4	36 7.7
	その他の世帯	5,678 100.0	4,780 84.2	96 1.7	271 4.8	36 0.6	34 0.6	77 1.4	77 1.4	307 5.4

図表 4-1-2 一番仲が良い友達 (小5)

単位 上段：世帯 下段：%		調査数	学校の友達	学校以外の地元や近所に住んでいる友達	スポーツ・チームやクラブ活動の友達	そのほかの友達	仲の良い友達はいない	無回答
全体		8,439 100.0	6,585 78.0	286 3.4	600 7.1	274 3.2	82 1.0	612 7.3
生活困難層別	生活困難層	797 100.0	630 79.0	27 3.4	36 4.5	24 3.0	13 1.6	67 8.4
	中間層	2,045 100.0	1,618 79.1	58 2.8	129 6.3	56 2.7	22 1.1	162 7.9
	非該当層	5,597 100.0	4,337 77.5	201 3.6	435 7.8	194 3.5	47 0.8	383 6.8
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	305 100.0	236 77.4	7 2.3	20 6.6	16 5.2	4 1.3	22 7.2
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	498 100.0	395 79.3	13 2.6	25 5.0	20 4.0	5 1.0	40 8.0
	その他の世帯	7,636 100.0	5,954 78.0	266 3.5	555 7.3	238 3.1	73 1.0	550 7.2

図表 4-1-3 子どもの一番仲の良い友達（小2）

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	同級生の友達	同級生以外の地元や 近所に住んでいる友達	スポーツ・チームや クラブ活動の友達	その他の友達	仲の良い友達はいない	無回答
全体		4,806 100.0	3,885 80.8	338 7.0	104 2.2	75 1.6	83 1.7	321 6.7
生活困難層別	生活困難層	429 100.0	321 74.8	40 9.3	8 1.9	13 3.0	15 3.5	32 7.5
	中間層	1,228 100.0	993 80.9	90 7.3	25 2.0	28 2.3	18 1.5	74 6.0
	非該当層	3,149 100.0	2,571 81.6	208 6.6	71 2.3	34 1.1	50 1.6	215 6.8
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	151 100.0	107 70.9	12 7.9	4 2.6	7 4.6	7 4.6	14 9.3
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	222 100.0	177 79.7	16 7.2	4 1.8	6 2.7	4 1.8	15 6.8
	その他の世帯	4,433 100.0	3,601 81.2	310 7.0	96 2.2	62 1.4	72 1.6	292 6.6

人とのかかわりについて、ふだんどのように思っていますか。

(小学2年生 小学5年生 中学2年生 小学2年生保護者 小学5年生保護者 中学2年生保護者)

図表 4-2-1-1 友達や先生とのかかわり方（中2） ①同性の友達と遊んだり、仲よくしている

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	とてもそう思う	少しは そう思う	そう思わない	無回答
全体		6,429 100.0	5,346 83.2	867 13.5	118 1.8	98 1.5
生活困難層別	生活困難層	642 100.0	511 79.6	108 16.8	14 2.2	9 1.4
	中間層	1,457 100.0	1,212 83.2	192 13.2	36 2.5	17 1.2
	非該当層	4,330 100.0	3,623 83.7	567 13.1	68 1.6	72 1.7
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	285 100.0	229 80.4	49 17.2	4 1.4	3 1.1
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	466 100.0	391 83.9	57 12.2	8 1.7	10 2.1
	その他の世帯	5,678 100.0	4,726 83.2	761 13.4	106 1.9	85 1.5

図表 4-2-1-2 友達や先生とのかかわり方（中2） ②異性の友達と遊んだり、仲よくしている

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	とてもそう思う	少しは そう思う	そう思わない	無回答
全体		6,429 100.0	1,867 29.0	2,852 44.4	1,600 24.9	110 1.7
生活困難層別	生活困難層	642 100.0	182 28.3	291 45.3	158 24.6	11 1.7
	中間層	1,457 100.0	452 31.0	613 42.1	371 25.5	21 1.4
	非該当層	4,330 100.0	1,233 28.5	1,948 45.0	1,071 24.7	78 1.8
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	285 100.0	82 28.8	129 45.3	71 24.9	3 1.1
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	466 100.0	142 30.5	190 40.8	121 26.0	13 2.8
	その他の世帯	5,678 100.0	1,643 28.9	2,533 44.6	1,408 24.8	94 1.7

図表 4-2-1-3 友達や先生とのかかわり方 (中2) ③友達に好かれている

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	とてもそう思う	少しは そう思う	そう思わない	無回答
全体		6,429 100.0	1,371 21.3	3,835 59.7	1,094 17.0	129 2.0
生活困難層別	生活困難層	642 100.0	121 18.8	361 56.2	147 22.9	13 2.0
	中間層	1,457 100.0	311 21.3	851 58.4	276 18.9	19 1.3
	非該当層	4,330 100.0	939 21.7	2,623 60.6	671 15.5	97 2.2
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	285 100.0	52 18.2	154 54.0	74 26.0	5 1.8
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	466 100.0	84 18.0	290 62.2	80 17.2	12 2.6
	その他の世帯	5,678 100.0	1,235 21.8	3,391 59.7	940 16.6	112 2.0

図表 4-2-1-4 友達や先生とのかかわり方 (中2) ④学校の先生からよいところを認められている

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	とてもそう思う	少しは そう思う	そう思わない	無回答
全体		6,429 100.0	1,911 29.7	3,431 53.4	968 15.1	119 1.9
生活困難層別	生活困難層	642 100.0	162 25.2	336 52.3	133 20.7	11 1.7
	中間層	1,457 100.0	408 28.0	793 54.4	235 16.1	21 1.4
	非該当層	4,330 100.0	1,341 31.0	2,302 53.2	600 13.9	87 2.0
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	285 100.0	71 24.9	139 48.8	72 25.3	3 1.1
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	466 100.0	134 28.8	251 53.9	70 15.0	11 2.4
	その他の世帯	5,678 100.0	1,706 30.0	3,041 53.6	826 14.5	105 1.8

図表 4-2-1-5 友達や先生とのかかわり方 (中2) ⑤学校の先生と話すのはうれしい

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	とてもそう思う	少しは そう思う	そう思わない	無回答
全体		6,429 100.0	1,693 26.3	3,034 47.2	1,588 24.7	114 1.8
生活困難層別	生活困難層	642 100.0	164 25.5	277 43.1	188 29.3	13 2.0
	中間層	1,457 100.0	384 26.4	683 46.9	372 25.5	18 1.2
	非該当層	4,330 100.0	1,145 26.4	2,074 47.9	1,028 23.7	83 1.9
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	285 100.0	73 25.6	116 40.7	92 32.3	4 1.4
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	466 100.0	118 25.3	216 46.4	122 26.2	10 2.1
	その他の世帯	5,678 100.0	1,502 26.5	2,702 47.6	1,374 24.2	100 1.8

図表 4-2-2-1 友達や先生とのかかわり方（小5） ①友達とたくさん遊んでいる

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	とてもそう思う	少しは そう思う	そう思わない	無回答
全 体		8,439 100.0	5,732 67.9	2,071 24.5	515 6.1	121 1.4
生活 困難 層別	生活困難層	797 100.0	542 68.0	187 23.5	56 7.0	12 1.5
	中間層	2,045 100.0	1,404 68.7	499 24.4	120 5.9	22 1.1
	非該当層	5,597 100.0	3,786 67.6	1,385 24.7	339 6.1	87 1.6
世帯 累計 別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	305 100.0	223 73.1	57 18.7	21 6.9	4 1.3
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	498 100.0	343 68.9	114 22.9	34 6.8	7 1.4
	その他の世帯	7,636 100.0	5,166 67.7	1,900 24.9	460 6.0	110 1.4

図表 4-2-2-2 友達や先生とのかかわり方（小5） ②友達と仲良くしている

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	とてもそう思う	少しは そう思う	そう思わない	無回答
全 体		8,439 100.0	6,908 81.9	1,281 15.2	121 1.4	129 1.5
生活 困難 層別	生活困難層	797 100.0	642 80.6	117 14.7	24 3.0	14 1.8
	中間層	2,045 100.0	1,682 82.2	313 15.3	26 1.3	24 1.2
	非該当層	5,597 100.0	4,584 81.9	851 15.2	71 1.3	91 1.6
世帯 累計 別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	305 100.0	241 79.0	52 17.0	8 2.6	4 1.3
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	498 100.0	391 78.5	89 17.9	9 1.8	9 1.8
	その他の世帯	7,636 100.0	6,276 82.2	1,140 14.9	104 1.4	116 1.5

図表 4-2-2-3 友達や先生とのかかわり方（小5） ③友達に好かれている

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	とてもそう思う	少しは そう思う	そう思わない	無回答
全 体		8,439 100.0	2,916 34.6	4,071 48.2	1,283 15.2	169 2.0
生活 困難 層別	生活困難層	797 100.0	263 33.0	382 47.9	136 17.1	16 2.0
	中間層	2,045 100.0	677 33.1	994 48.6	344 16.8	30 1.5
	非該当層	5,597 100.0	1,976 35.3	2,695 48.2	803 14.3	123 2.2
世帯 累計 別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	305 100.0	96 31.5	153 50.2	51 16.7	5 1.6
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	498 100.0	165 33.1	245 49.2	78 15.7	10 2.0
	その他の世帯	7,636 100.0	2,655 34.8	3,673 48.1	1,154 15.1	154 2.0

図表 4-2-2-4 友達や先生とのかかわり方（小5）④学校の先生からよいところを認められている

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	とてもそう思う	少しは そう思う	そう思わない	無回答
全体		8,439 100.0	2,926 34.7	4,229 50.1	1,132 13.4	152 1.8
生活困難層別	生活困難層	797 100.0	233 29.2	413 51.8	138 17.3	13 1.6
	中間層	2,045 100.0	680 33.3	1,052 51.4	286 14.0	27 1.3
	非該当層	5,597 100.0	2,013 36.0	2,764 49.4	708 12.6	112 2.0
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	305 100.0	86 28.2	154 50.5	61 20.0	4 1.3
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	498 100.0	172 34.5	247 49.6	70 14.1	9 1.8
	その他の世帯	7,636 100.0	2,668 34.9	3,828 50.1	1,001 13.1	139 1.8

図表 4-2-2-5 友達や先生とのかかわり方（小5）⑤学校の先生と話すのはうれしい

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	とてもそう思う	少しは そう思う	そう思わない	無回答
全体		8,439 100.0	3,684 43.7	3,401 40.3	1,212 14.4	142 1.7
生活困難層別	生活困難層	797 100.0	352 44.2	314 39.4	118 14.8	13 1.6
	中間層	2,045 100.0	891 43.6	833 40.7	295 14.4	26 1.3
	非該当層	5,597 100.0	2,441 43.6	2,254 40.3	799 14.3	103 1.8
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	305 100.0	132 43.3	121 39.7	48 15.7	4 1.3
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	498 100.0	224 45.0	198 39.8	67 13.5	9 1.8
	その他の世帯	7,636 100.0	3,328 43.6	3,082 40.4	1,097 14.4	129 1.7

図表 4-2-3-1 子どもの人とのかかわりの様子（小2）①友達とたくさん遊んでいると思う

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	とてもそう思う	そう思う	あまり 思わない	まったく 思わない	無回答
全体		4,806 100.0	1,710 35.6	2,429 50.5	542 11.3	50 1.0	75 1.6
生活困難層別	生活困難層	429 100.0	151 35.2	211 49.2	54 12.6	6 1.4	7 1.6
	中間層	1,228 100.0	445 36.2	622 50.7	135 11.0	13 1.1	13 1.1
	非該当層	3,149 100.0	1,114 35.4	1,596 50.7	353 11.2	31 1.0	55 1.7
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	151 100.0	58 38.4	74 49.0	15 9.9	2 1.3	2 1.3
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	222 100.0	75 33.8	114 51.4	28 12.6	2 0.9	3 1.4
	その他の世帯	4,433 100.0	1,577 35.6	2,241 50.6	499 11.3	46 1.0	70 1.6

図表 4-2-3-2 子どもの人とのかかわりの様子（小2）②友達に好かれていると思う

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	とてもそう思う	そう思う	あまり 思わない	まったく 思わない	無回答
全体		4,806 100.0	889 18.5	3,467 72.1	351 7.3	17 0.4	82 1.7
生活困難層別	生活困難層	429 100.0	71 16.6	294 68.5	52 12.1	5 1.2	7 1.6
	中間層	1,228 100.0	210 17.1	893 72.7	107 8.7	4 0.3	14 1.1
	非該当層	3,149 100.0	608 19.3	2,280 72.4	192 6.1	8 0.3	61 1.9
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	151 100.0	29 19.2	102 67.5	16 10.6	2 1.3	2 1.3
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	222 100.0	41 18.5	159 71.6	16 7.2	1 0.5	5 2.3
	その他の世帯	4,433 100.0	819 18.5	3,206 72.3	319 7.2	14 0.3	75 1.7

図表 4-2-3-3 子どもの人とのかかわりの様子（小2） ③友達と遊ぶのは楽しそう

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	とてもそう思う	そう思う	あまり 思わない	まったく 思わない	無回答
全体		4,806 100.0	3,175 66.1	1,506 31.3	49 1.0	5 0.1	71 1.5
生活困難層別	生活困難層	429 100.0	269 62.7	142 33.1	10 2.3	2 0.5	6 1.4
	中間層	1,228 100.0	805 65.6	400 32.6	11 0.9	-	12 1.0
	非該当層	3,149 100.0	2,101 66.7	964 30.6	28 0.9	3 0.1	53 1.7
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	151 100.0	92 60.9	53 35.1	3 2.0	1 0.7	2 1.3
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	222 100.0	145 65.3	69 31.1	5 2.3	-	3 1.4
	その他の世帯	4,433 100.0	2,938 66.3	1,384 31.2	41 0.9	4 0.1	66 1.5

図表 4-2-3-4 子どもの人とのかかわりの様子（小2） ④学校に行くのを楽しみにしている

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	とてもそう思う	そう思う	あまり 思わない	まったく 思わない	無回答
全体		4,806 100.0	1,887 39.3	2,423 50.4	386 8.0	32 0.7	78 1.6
生活困難層別	生活困難層	429 100.0	168 39.2	203 47.3	43 10.0	5 1.2	10 2.3
	中間層	1,228 100.0	475 38.7	619 50.4	115 9.4	5 0.4	14 1.1
	非該当層	3,149 100.0	1,244 39.5	1,601 50.8	228 7.2	22 0.7	54 1.7
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	151 100.0	60 39.7	69 45.7	17 11.3	2 1.3	3 2.0
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	222 100.0	83 37.4	118 53.2	17 7.7	-	4 1.8
	その他の世帯	4,433 100.0	1,744 39.3	2,236 50.4	352 7.9	30 0.7	71 1.6

図表 4-2-3-5 子どもの人とのかかわりの様子（小2）

⑤学校の先生からよいところを認められている

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	とてもそう思う	そう思う	あまり 思わない	まったく 思わない	無回答
全体		4,806 100.0	1,298 27.0	2,871 59.7	502 10.4	47 1.0	88 1.8
生活困難層別	生活困難層	429 100.0	104 24.2	247 57.6	63 14.7	5 1.2	10 2.3
	中間層	1,228 100.0	330 26.9	744 60.6	130 10.6	10 0.8	14 1.1
	非該当層	3,149 100.0	864 27.4	1,880 59.7	309 9.8	32 1.0	64 2.0
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	151 100.0	32 21.2	83 55.0	31 20.5	1 0.7	4 2.6
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	222 100.0	55 24.8	137 61.7	24 10.8	3 1.4	3 1.4
	その他の世帯	4,433 100.0	1,211 27.3	2,651 59.8	447 10.1	43 1.0	81 1.8

図表 4-2-3-6 子どもの人とのかかわりの様子 (小2) ⑥学校の先生と話すのは嬉しそう

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	とてもそう思う	そう思う	あまり 思わない	まったく 思わない	無回答
全 体		4,806 100.0	1,482 30.8	2,534 52.7	631 13.1	70 1.5	89 1.9
生活 困難 層別	生活困難層	429 100.0	125 29.1	216 50.3	75 17.5	4 0.9	9 2.1
	中間層	1,228 100.0	368 30.0	663 54.0	160 13.0	21 1.7	16 1.3
	非該当層	3,149 100.0	989 31.4	1,655 52.6	396 12.6	45 1.4	64 2.0
世帯 累計 別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	151 100.0	45 29.8	68 45.0	35 23.2	1 0.7	2 1.3
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	222 100.0	74 33.3	107 48.2	34 15.3	4 1.8	3 1.4
	その他の世帯	4,433 100.0	1,363 30.7	2,359 53.2	562 12.7	65 1.5	84 1.9

あなたは困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、次の人たちにどれくらい話しますか。

(小学2年生 小学5年生 中学2年生 小学2年生保護者 小学5年生保護者 中学2年生保護者)

図表 4-3-1 困りごとや悩みごとなどの相談相手 ①お母さん

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	よく話す	ときどき話す	話さない	いない	無回答
全 体		14,868 100.0	9,627 64.7	3,840 25.8	985 6.6	144 1.0	272 1.8
子 ど も の 年 齢	小学5年生	8,439 100.0	5,760 68.3	2,038 24.1	414 4.9	80 0.9	147 1.7
	中学2年生	6,429 100.0	3,867 60.1	1,802 28.0	571 8.9	64 1.0	125 1.9
生活 困難 層別	生活困難層	1,439 100.0	878 61.0	390 27.1	128 8.9	22 1.5	21 1.5
	中間層	3,502 100.0	2,208 63.0	924 26.4	254 7.3	53 1.5	63 1.8
	非該当層	9,927 100.0	6,541 65.9	2,526 25.4	603 6.1	69 0.7	188 1.9
世帯 累計 別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	590 100.0	375 63.6	158 26.8	51 8.6	-	6 1.0
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	964 100.0	606 62.9	263 27.3	68 7.1	-	27 2.8
	その他の世帯	13,314 100.0	8,646 64.9	3,419 25.7	866 6.5	144 1.1	239 1.8

図表 4-3-1-1 困りごとや悩みごとなどの相談相手 ①お母さん (学年・生活困難層別)

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	①お母さん				
			よく話す	ときどき話す	話さない	いない	無回答
子 ど も の 年 齢 × 生 活 困 難 層	小学5年生の 生活困難層	797 100.0	513 64.4	214 26.9	48 6.0	11 1.4	11 1.4
	小学5年生の 非生活困難層	7,642 100.0	5,247 68.7	1,824 23.9	366 4.8	69 0.9	136 1.8
	中学2年生の 生活困難層	642 100.0	365 56.9	176 27.4	80 12.5	11 1.7	10 1.6
	中学2年生の 非生活困難層	5,787 100.0	3,502 60.5	1,626 28.1	491 8.5	53 0.9	115 2.0

図表 4-3-2 困りごとや悩みごとなどの相談相手 ②お父さん

単位		上段：世帯 下段：%	調査数	よく話す	ときどき話す	話さない	いない	無回答
全体			14,868 100.0	4,663 31.4	5,638 37.9	3,175 21.4	1,000 6.7	392 2.6
年齢 子どもの	小学5年生		8,439 100.0	2,935 34.8	3,208 38.0	1,559 18.5	512 6.1	225 2.7
	中学2年生		6,429 100.0	1,728 26.9	2,430 37.8	1,616 25.1	488 7.6	167 2.6
生活 困難層別	生活困難層		1,439 100.0	302 21.0	390 27.1	286 19.9	412 28.6	49 3.4
	中間層		3,502 100.0	1,063 30.4	1,238 35.4	768 21.9	351 10.0	82 2.3
	非該当層		9,927 100.0	3,298 33.2	4,010 40.4	2,121 21.4	237 2.4	261 2.6
世帯 累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層		590 100.0	39 6.6	86 14.6	84 14.2	361 61.2	20 3.4
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層		964 100.0	80 8.3	196 20.3	143 14.8	515 53.4	30 3.1
	その他の世帯		13,314 100.0	4,544 34.1	5,356 40.2	2,948 22.1	124 0.9	342 2.6

図表 4-3-2-1 困りごとや悩みごとなどの相談相手 ②お父さん (学年・生活困難層別)

単位		上段：世帯 下段：%	調査数	②お父さん				
				よく話す	ときどき話す	話さない	いない	無回答
年齢 子どもの ×生活 困難層	小学5年生の 生活困難層		797 100.0	192 24.1	236 29.6	127 15.9	214 26.9	28 3.5
	小学5年生の 非生活困難層		7,642 100.0	2,743 35.9	2,972 38.9	1,432 18.7	298 3.9	197 2.6
	中学2年生の 生活困難層		642 100.0	110 17.1	154 24.0	159 24.8	198 30.8	21 3.3
	中学2年生の 非生活困難層		5,787 100.0	1,618 28.0	2,276 39.3	1,457 25.2	290 5.0	146 2.5

図表 4-3-3 困りごとや悩みごとなどの相談相手

③おばあちゃん・おじいちゃん、いとこなどの親せき

単位		上段：世帯 下段：%	調査数	よく話す	ときどき話す	話さない	いない	無回答
全体			14,868 100.0	2,939 19.8	5,472 36.8	5,497 37.0	642 4.3	318 2.1
年齢 子どもの	小学5年生		8,439 100.0	1,889 22.4	3,152 37.4	2,856 33.8	355 4.2	187 2.2
	中学2年生		6,429 100.0	1,050 16.3	2,320 36.1	2,641 41.1	287 4.5	131 2.0
生活 困難層別	生活困難層		1,439 100.0	340 23.6	477 33.1	484 33.6	102 7.1	36 2.5
	中間層		3,502 100.0	796 22.7	1,264 36.1	1,218 34.8	154 4.4	70 2.0
	非該当層		9,927 100.0	1,803 18.2	3,731 37.6	3,795 38.2	386 3.9	212 2.1
世帯 累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層		590 100.0	151 25.6	206 34.9	177 30.0	44 7.5	12 2.0
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層		964 100.0	247 25.6	335 34.8	310 32.2	48 5.0	24 2.5
	その他の世帯		13,314 100.0	2,541 19.1	4,931 37.0	5,010 37.6	550 4.1	282 2.1

図表 4-3-3-1 困りごとや悩みごとなどの相談相手

③おばあちゃん・おじいちゃん、いとこなどの親せき（学年・生活困難層別）

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	③おばあちゃん・おじいちゃん、いとこなどの親せき				
			よく話す	ときどき話す	話さない	いない	無回答
子どもの年齢×生活困難層	小学5年生の生活困難層	797 100.0	204 25.6	270 33.9	243 30.5	59 7.4	21 2.6
	小学5年生の非生活困難層	7,642 100.0	1,685 22.0	2,882 37.7	2,613 34.2	296 3.9	166 2.2
	中学2年生の生活困難層	642 100.0	136 21.2	207 32.2	241 37.5	43 6.7	15 2.3
	中学2年生の非生活困難層	5,787 100.0	914 15.8	2,113 36.5	2,400 41.5	244 4.2	116 2.0

図表 4-3-4 困りごとや悩みごとなどの相談相手 ④兄弟姉妹

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	よく話す	ときどき話す	話さない	いない	無回答
全体		14,868 100.0	4,824 32.4	3,670 24.7	4,110 27.6	1,850 12.4	414 2.8
子どもの年齢	小学5年生	8,439 100.0	2,877 34.1	2,010 23.8	2,204 26.1	1,095 13.0	253 3.0
	中学2年生	6,429 100.0	1,947 30.3	1,660 25.8	1,906 29.6	755 11.7	161 2.5
生活困難層別	生活困難層	1,439 100.0	442 30.7	352 24.5	382 26.5	219 15.2	44 3.1
	中間層	3,502 100.0	1,165 33.3	855 24.4	964 27.5	419 12.0	99 2.8
	非該当層	9,927 100.0	3,217 32.4	2,463 24.8	2,764 27.8	1,212 12.2	271 2.7
世帯累計別	ひとり親(母親のみ)世帯の生活困難層	590 100.0	157 26.6	150 25.4	143 24.2	128 21.7	12 2.0
	ひとり親(母親のみ)世帯の非生活困難層	964 100.0	272 28.2	199 20.6	225 23.3	238 24.7	30 3.1
	その他の世帯	13,314 100.0	4,395 33.0	3,321 24.9	3,742 28.1	1,484 11.1	372 2.8

図表 4-3-5 困りごとや悩みごとなどの相談相手 ⑤学校の先生

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	よく話す	ときどき話す	話さない	いない	無回答
全体		14,868 100.0	2,436 16.4	6,138 41.3	5,835 39.2	160 1.1	299 2.0
子どもの年齢	小学5年生	8,439 100.0	1,540 18.2	3,549 42.1	3,075 36.4	92 1.1	183 2.2
	中学2年生	6,429 100.0	896 13.9	2,589 40.3	2,760 42.9	68 1.1	116 1.8
生活困難層別	生活困難層	1,439 100.0	259 18.0	580 40.3	551 38.3	18 1.3	31 2.2
	中間層	3,502 100.0	548 15.6	1,499 42.8	1,346 38.4	47 1.3	62 1.8
	非該当層	9,927 100.0	1,629 16.4	4,059 40.9	3,938 39.7	95 1.0	206 2.1
世帯累計別	ひとり親(母親のみ)世帯の生活困難層	590 100.0	100 16.9	256 43.4	218 36.9	5 0.8	11 1.9
	ひとり親(母親のみ)世帯の非生活困難層	964 100.0	163 16.9	370 38.4	392 40.7	17 1.8	22 2.3
	その他の世帯	13,314 100.0	2,173 16.3	5,512 41.4	5,225 39.2	138 1.0	266 2.0

図表 4-3-5-1 困りごとや悩みごとなどの相談相手 ⑤学校の先生（学年・生活困難層別）

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	⑤学校の先生				
			よく話す	ときどき話す	話さない	いない	無回答
子どもの年齢×生活困難層	小学5年生の生活困難層	797 100.0	162 20.3	322 40.4	278 34.9	13 1.6	22 2.8
	小学5年生の非生活困難層	7,642 100.0	1,378 18.0	3,227 42.2	2,797 36.6	79 1.0	161 2.1
	中学2年生の生活困難層	642 100.0	97 15.1	258 40.2	273 42.5	5 0.8	9 1.4
	中学2年生の非生活困難層	5,787 100.0	799 13.8	2,331 40.3	2,487 43.0	63 1.1	107 1.8

図表 4-3-6 困りごとや悩みごとなどの相談相手 ⑥スポーツクラブのコーチや塾・習い事の先生

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	よく話す	ときどき話す	話さない	いない	無回答
全体		14,868 100.0	2,472 16.6	3,366 22.6	5,992 40.3	2,748 18.5	290 2.0
子どもの年齢	小学5年生	8,439 100.0	1,519 18.0	1,895 22.5	3,640 43.1	1,213 14.4	172 2.0
	中学2年生	6,429 100.0	953 14.8	1,471 22.9	2,352 36.6	1,535 23.9	118 1.8
生活困難層別	生活困難層	1,439 100.0	211 14.7	229 15.9	464 32.2	506 35.2	29 2.0
	中間層	3,502 100.0	544 15.5	769 22.0	1,317 37.6	811 23.2	61 1.7
	非該当層	9,927 100.0	1,717 17.3	2,368 23.9	4,211 42.4	1,431 14.4	200 2.0
世帯累計別	ひとり親(母親のみ)世帯の生活困難層	590 100.0	84 14.2	95 16.1	180 30.5	221 37.5	10 1.7
	ひとり親(母親のみ)世帯の非生活困難層	964 100.0	157 16.3	198 20.5	359 37.2	225 23.3	25 2.6
	その他の世帯	13,314 100.0	2,231 16.8	3,073 23.1	5,453 41.0	2,302 17.3	255 1.9

図表 4-3-7 困りごとや悩みごとなどの相談相手 ⑦スクールカウンセラー

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	よく話す	ときどき話す	話さない	いない	無回答
全体		14,868 100.0	175 1.2	795 5.3	7,406 49.8	6,074 40.9	418 2.8
子どもの年齢	小学5年生	8,439 100.0	110 1.3	480 5.7	3,803 45.1	3,768 44.6	278 3.3
	中学2年生	6,429 100.0	65 1.0	315 4.9	3,603 56.0	2,306 35.9	140 2.2
生活困難層別	生活困難層	1,439 100.0	25 1.7	75 5.2	607 42.2	693 48.2	39 2.7
	中間層	3,502 100.0	44 1.3	210 6.0	1,612 46.0	1,552 44.3	84 2.4
	非該当層	9,927 100.0	106 1.1	510 5.1	5,187 52.3	3,829 38.6	295 3.0
世帯累計別	ひとり親(母親のみ)世帯の生活困難層	590 100.0	11 1.9	23 3.9	250 42.4	292 49.5	14 2.4
	ひとり親(母親のみ)世帯の非生活困難層	964 100.0	8 0.8	42 4.4	443 46.0	437 45.3	34 3.5
	その他の世帯	13,314 100.0	156 1.2	730 5.5	6,713 50.4	5,345 40.1	370 2.8

図表 4-3-8 困りごとや悩みごとなどの相談相手 ⑧友達

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	よく話す	ときどき話す	話さない	いない	無回答
全体		14,868 100.0	8,956 60.2	3,853 25.9	1,676 11.3	123 0.8	260 1.7
子どもの年齢	小学5年生	8,439 100.0	4,844 57.4	2,307 27.3	1,065 12.6	73 0.9	150 1.8
	中学2年生	6,429 100.0	4,112 64.0	1,546 24.0	611 9.5	50 0.8	110 1.7
生活困難層別	生活困難層	1,439 100.0	872 60.6	365 25.4	158 11.0	20 1.4	24 1.7
	中間層	3,502 100.0	2,146 61.3	869 24.8	399 11.4	30 0.9	58 1.7
	非該当層	9,927 100.0	5,938 59.8	2,619 26.4	1,119 11.3	73 0.7	178 1.8
世帯累計別	ひとり親(母親のみ) 世帯の生活困難層	590 100.0	351 59.5	150 25.4	75 12.7	6 1.0	8 1.4
	ひとり親(母親のみ) 世帯の非生活困難層	964 100.0	585 60.7	234 24.3	112 11.6	9 0.9	24 2.5
	その他の世帯	13,314 100.0	8,020 60.2	3,469 26.1	1,489 11.2	108 0.8	228 1.7

図表 4-3-8-1 困りごとや悩みごとなどの相談相手 ⑧友達 (学年・生活困難層別)

単位	上段：世帯 下段：%	調査数	⑧友達				
			よく話す	ときどき話す	話さない	いない	無回答
子どもの年齢×生活困難層	小学5年生の生活困難層	797 100.0	467 58.6	214 26.9	90 11.3	12 1.5	14 1.8
	小学5年生の非生活困難層	7,642 100.0	4,377 57.3	2,093 27.4	975 12.8	61 0.8	136 1.8
	中学2年生の生活困難層	642 100.0	405 63.1	151 23.5	68 10.6	8 1.2	10 1.6
	中学2年生の非生活困難層	5,787 100.0	3,707 64.1	1,395 24.1	543 9.4	42 0.7	100 1.7

【詳細分析3】

対人関係と自己効力感・自己有用感

※ 本分析は、追加市町村のデータは含まない。

1 対人関係と自己効力感・自己有用感等

子どもの対人関係と自己効力感・自己有用感の関係を見るために、小学5年生のデータから、「人のかかわりについて、ふだんどのように思っていますか」（図表 4-2-1-1～4-2-3-6）と「ふだんかんがえていること」（図表 6-1-1～6-1-7）の各質問項目のクロス集計を行なった（小学校5年生）。その結果の概要を以下に述べる。

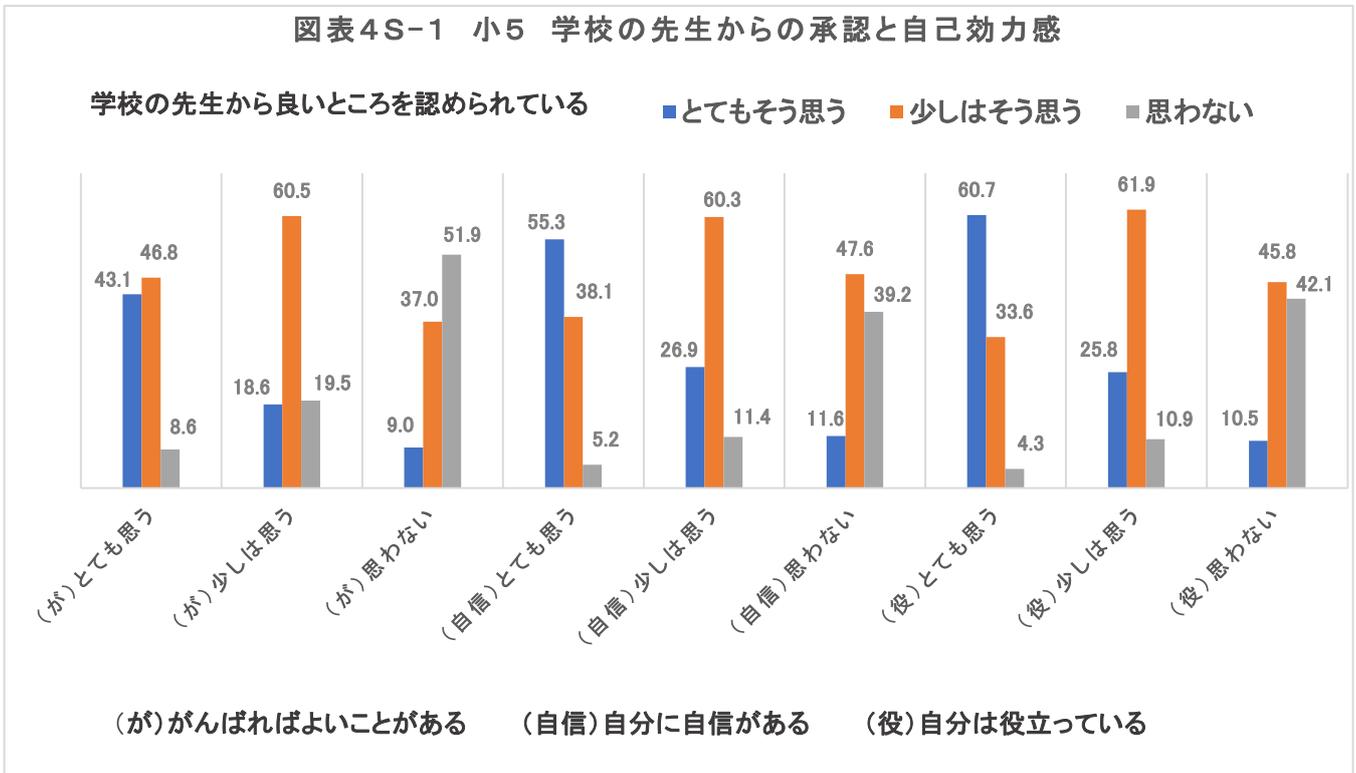
まず、「がんばればよいことがある」に「とても思う」と回答した児童のうち、「学校の先生から認められている」に「とてもそう思う」とした者は43.1%、「思わない」とした者は8.6%であった。

次に、「がんばればよいことがある」に「思わない」と回答した児童のうち、「学校の先生から認められている」に「とてもそう思う」としたものは9.0%に留まり、「思わない」は51.9%を占めた。つまり、がんばればよいことがあると思う児童は、より、教師から認められていると感じている。一方で、がんばればよいことがあると思わない児童ほど、教師から認められていると感じていない傾向が見られた。（図表 4S-1）

次に、「自分には自信がある」に「とても思う」と回答した児童のうち、「学校の先生から認められている」に「とてもそう思う」とした児童は55.3%であり、「思わない」としたのは5.2%に留まった。一方、「自分には自信がある」に「思わない」とした児童のうち、「学校の先生から認められている」に「とてもそう思う」としたものは11.6%に留まり、「思わない」は39.2%を占めた。つまり、自分には自信があると思う児童ほど教師から認められていると感じている。そして、自分には自信があると思わない児童では、教師から認められていると感じていない傾向が見られた。（図表 4S-1）

さらに、「自分は人のために役立っている」に「とても思う」と回答した児童のうち、「学校の先生から認められている」に「とてもそう思う」とした児童は60.7%に及び、「思わない」としたのは4.3%に留まった。つぎに、「自分は人のために役立っている」に「思わない」とした児童のうち、「学校の先生から認められている」に「とてもそう思う」としたものは10.5%に留まり、「思わない」は42.1%を占めた。つまり、人のために役立っていると思う児童ほど教師から認められていると実感し、一方で、人のために役立っていると思わない児童ほど、教師から認められているとも感じていない傾向が見られた。（図表 4S-1）

図表4S-1 小5 学校の先生からの承認と自己効力感



これらの結果から、子ども達が抱く自信や自己効力感(=「がんばればよいことがある」)は、学校生活での、教師からの肯定的評価や承認の体験と関連すると考えられる。また、この肯定や承認の体験は、児童の自己有用感(=「自分は人のために役立っている」)との間にも関連を有すると考えられる。これらの知見から、教師が肯定的な態度を示し、メッセージを発すること、子どもが各自の持っている能力で、学習活動の達成等の成功体験を積めるように配慮すること、学校や学級で「役割や仕事」を担う活動を用意すること(係・委員会等)の重要性を再認識することができる。

2 子どもの不安と対人関係

子どもの不安と対人関係の関係を調べるため、小5のデータから、「学校の先生と話すのはうれしい」(図表4-2-2-5)と、「不安を感じることもある」(図表6-1-6)とのクロス集計を行なった。その結果の概要を以下に述べる。

まず、「不安を感じることもある」について「とても思う」とした児童と、「思わない」とした児童間で、「学校の先生と話すのはうれしい」とする回答の構成比を比較した。前者は、とてもそう思う・少しはそう思う・思わない、の順に42.9%・38.3%・16.9%、後者は45.4%・38.6%・14.9%であり、両者間に構成比の差は認められなかった。つぎに、「友達に好かれている」と「不安を感じることもある」のクロス集計を行なった。「不安を感じることもある」を「とても思う」とした児童と、「思わない」とした児童間で、「友達に好かれている」に対する回答の構成比を比較した。前者は、とてもそう思う・少しはそう思う・思わないの順に29.4%、46.0%、22.5%であり、後者は41.8%、43.8%、12.7%であった。このように構成比の差を認め、不安を感じていない児童は、より友達に好かれていると回答する傾向が認められた。

これらの結果から、児童が学校生活において抱える不安は、児童間の社会的関係に大きく影響されている可能性が示唆された。さらに、子どもの心理的な安定を図るためには、単に、教師との親密で個別的な関わりを増やすだけでなく、学級内の子ども同士の社会的関係性にアプローチする援助が重要であると考えられる。